

「山の中の青あじさい」
あじさいの部 銅賞 国立市 島崎 恭子



自分の名前

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田 純一

八王子にある私の生家である寺の住職となり、次いで高幡のお不動さまの住職を拝命し、現在に至るまで多くのお檀家の方々の葬儀の導師を勤めてまいりました。訃報を受けて、通夜葬儀の打ち合わせを行う際に、故人の略歴などを伺いました。そして、ゆつくり御戒名を考えます。そのとき、私は故人の名前に込められたご両親の思いをよく想像します。我が子の幸福や健康はもちろんのこと、聡明さや美しさ、そして音の響きなど、さまざまな願いが込められています。

さて私の名前は「純一」といいます。この名は当山の先々代である秋山祐雅大僧正が両親に代わって名づけてくれたものです。この名前の由来を知ったのは、私が仏道に進んだ十八歳の時、宗門の大学に入るに当たって、出家受戒の儀式である得度を受けたときでした。それは真言宗で特によく唱えられている『理趣経』の「初中後善にして文義巧妙なり、純一円満にして清浄潔白なり」という一文から取られたものであるということでした。

ただ得度をし僧侶になったとはいえ、当時の私は未熟で、この経文の意味など理解すべくもなく、いたずらに歳を重ねるだけでした。後年、名づけ親である秋山大僧正がご遷化されたのを機に、その意味を改めて調べてみると、それは真言の教主である大日如来がお説きになられた『理趣経』の内容は、「初めも、中も、終わりもすべて善く、文章が巧みで、意味が大変優れている。また純粹無二なる仏のさとり境地そのものであり、一点の汚れもなく清らかで潔白である」というものでした。すなわち「純一」の名の意味は、〈純粹無二なる大日如来のさとり境地〉というもので、ここによく僧侶としての自分の名前の重さを理解するに至ったのでした。

自分の名前の意味由来を知るとは、ご両親の愛情と願いを知ることであり、これからも名前に恥じぬよう、そして誇りをもって日々過ごしていきたいと思えます。

お不動さまの心(一一一) 現代の世相から(84) 廣澤隆之

最近ではインバウンドについてしばしばニュースなどで取りあげられています。インバウンドとは旅行に関連する場合には「訪日外国人の国内旅行」といった意味になります。日本の経済を活性化させるためにも、インバウンドが政府の観光事業として重視されたこともあり、またインターネットの情報拡大によって日本への関心が高まって観光客が多くなっているのでしょう。

そしてこのような来日外国人にインタビューする沢山の動画をインターネット上で見る事ができます。そういった動画のほとんどが社交辞令ともいえるほどの日本礼賛になっていて、なかなか彼らの本心が見えてきません。そしてほとんどの外国人が日本人の「礼儀正しさ」と「規則正しさ」に感心し、治安のよさを讃えています。

例えば、コンビニや喫茶店に入ると店員が「いらっしゃいませ」と声を張り上げる光景を私たちは当たり前のように受け取り、とりわけ店員が礼儀正しいとは思いません。しかし日本礼

賛をする外国人はそこに「礼儀正しさ」とか「他人への敬意」を感じとららしいのです。このような発言をする外国人は自分の国の文化にはないものを望み、その気持ちを異国のコンビニや喫茶店の店員の振る舞いに投影しているのではないかと思えます。

同じように「規則正しさ」というのもそうです。多くの外国人が感心する光景は電車の乗り降りや渋谷駅前のスクランブル交差点です。日本では電車が到着すると乗客が降りきるのを待つて乗車します。しかもきちんと整列して順番を乱さずに乗車します。この光景に感動するようです。降りる人のことなど配慮せず、降りる先にと乗車するために混乱するのが当たり前の国から来れば、混雑してもストレスなく乗降できる日本人のマナーに感心するでしょう。

そして渋谷駅前のスクランブル交差点も不思議な光景に見えるようです。混雑する人混みが一斉に交差点を四方八方にスムーズに渡る人の流れを二階の喫茶店から眺めると感動するそう

です。日本人が他人を配慮し、人の流れを乱さない「規則正しさ」が称賛されています。

これらの称賛は裏をかえすと、日本人は個人の主張より全体の雰囲気で行動するというところもあるでしょう。また、自分の考えを抑えても全体の流れに従うということでもあるでしょう。近頃よく耳にする「同調圧力」もこのような傾向をいうのでしよう。また以前に流行った「KY（空気が読めない）」というのと同様でしょう。

多くの識者が日本人は欧米のように個人が自立していないと批評するのにもこういうったことに通じるでしょう。

一方で称賛されることも、裏をかえせば批判される行動とつながっているように思えます。このことを考えてゆくと、とても難しい問題が潜んでいるように思えます。

そもそも欧米のように個人が自立し、個人の意見を強く主張する社会が民主主義の形成のためには必要であると多くの学者や評論家は考えています。しかしそのような社会は実際には



毘沙門天像 江本象岳画

個人の対立が強くなり緊張を強いる社会にもなりかねません。緊張を強いる社会では個人が生き残るための競争も激しくなりがちです。特に「欲望の資本主義」が過度に発達した社会では競争に勝ち残った者が富を独占しがちです。限りない欲望とゴールのない競争が循環する社会では競争から脱落した多数の人びとが貧困に追いやられます。このような社会のシステムを生み出したのも欧米の

個人優先の原理によるのでしょうか。

こういった個人を優先する緊張した社会を生きる外国人にとって渋谷駅前のスクランブル交差点が不思議な光景であることもうなずけます。あの混雑したスクランブル交差点で他人への気遣いなく自分が行きたい方向へ勝手に道路を渡れば大勢の人とぶつかり、極度の緊張を強い

られます。そのような混乱を防ぐためには他人への配慮が必要になり、そうすることで緊張をやわらげることが出来ます。

現代社会では個人が自立しなければなりません。しかし個人が優先し、自分勝手な横行すると社会はうまく成り立ちません。日本の伝統文化では個人を抑える傾向が強かったように思えますが、「欲望の資本主義」といわれる厳しい競争社会では自分を控えめにする美德だけでは生きてゆけません。しかし日本人が外国から称賛される「他人への配慮」「礼儀正しさ」を失いたくありません。伝統文化が見失われ、社会が激変する今こそ、私たちは未来に向かってこのことに真摯に向かい合う必要があるでしょう。

そして伝統文化の基礎であり、しかも失われつつある日本特有の自然や宗教のありかたをしつかり考える必要があるでしょう。訪日する外国人は日本の美しい自然と伝統的な寺院や神社の雰囲気にも感動しています。渋谷のスクランブル交差点を混乱なく渡る日本人の心の奥に息づく文化を深く見つめたいものです。

廣澤隆之先生のプロフィール

● 大正大学名誉教授

● 浄福寺住職

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く
厚く御礼申し上げます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

境内整備緑化資金

寄進者芳名

(令和六年二月一日～四月三十日)

- 府中市 青木 裕吉
- 日野市 田倉 美枝子
- 日野市 伊東 晴雄

幟旗奉納者芳名

(令和六年二月一日～四月三十日)

- 中野区 山本 民子
- 調布市 長谷川 大海
- 多摩市 森下 晃仁
- 日野市 有泉 雅弘
- 日野市 岡村 喜久江
- 二本 日野市 安川 武雄
- 二本 八王子市 小坂 喜美代
- 町田市 阿部 斉人

一、品名 手作り巾着他

奉納者
国立市 佐藤 ふじ子

一、品名 高幡山

境内堂宇図

奉納者

日野市 中村 臣子



一、品名 山野草十六鉢

奉納者

町田市 吉原 辰男



一、品名 掛け軸 二幅

奉納者

日野市 中澤 洋

白隠禅師「暫時不在」(複製)



白隠禅師「達磨像」(複製)



清浄塗香

五〇〇円



塗香とは身を清める
為に塗るお香
で、お護摩修行の
際にお授けしてい
るものです。

青葉まつり記念法話

日時 六月十五日(土) 午後一時から

会場 大日堂(聴講無料)

講師 川崎大師平間寺法務部法務課

渡部 純哉 先生



・演題

「童話から学ぶ
人生の教え」

秋季大祭記念講演

日時 九月二十八日(土) 十二時三十分から

会場 客殿二階(聴講無料)

講師 真言宗智山派教化部長

川口市正源寺住職

荒井 真道 先生



・演題

「生きる力」
仏さまに祈り、
仏さまと出会う」



御前さまと記念撮影～お稚児の皆さん 4/28

高幡不動尊
フォトニュース



満開の桜と～花まつりのお練り 4/8



江戸消防記念会による木遣り奉納 4/28



写経奉納大護摩供 4/27



不動堂の前でワッショイ！ 4/29



千体地藏尊総回向法要 4/29



五重の塔五層より 4/28



総代世話人研修～川崎大師にて 5/7



きものクイーンコンテスト参加者勢揃い 5/11



大寫経会 4/27



花まつりのお参り 4/8



義援金を日本赤十字社へ 4/8



おみがき～高幡山遍照講のご奉仕 4/24

夏の行事案内 (六月～八月)

◇六月

- 1日(土) 30日(日) 高幡不動尊あじさいまつり
- 9日(日) フリーマーケット
- 15日(土) 青葉まつり(弘法大師・興教大師)ご生誕慶祝法要

於大日堂午後一時より
法話 講師 川崎大師平間寺法務部法務課
渡部純哉先生

- 15日(土) お焚き上げ(午前九時)
- 16日(日) 高幡写仏会 講師 牧 宥恵先生 (下段参照)

- 16日(日) ござれ市(がらくた市) (雨天決行)
- 21日(金) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶
- 24日(月) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(金) 月例祭(ご縁日)

◇七月

- 14日(日) フリーマーケット
- 15日(祝) 孟蘭盆会法要(午前六時)
- 21日(日) ござれ市(がらくた市) (雨天決行)
- 21日(日) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶
- 24日(水) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(日) 月例祭(ご縁日)

◇八月

- 3日(土) 俳句大会表彰式
- 4日(日) 短歌大会表彰式
- 15日(木) 孟蘭盆会大施餓鬼法要(午後一時)
- 18日(日) ござれ市(がらくた市) (雨天決行)
- 21日(水) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶
- 24日(土) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(水) 月例祭(ご縁日)

法話 講師 成田山新勝寺教化部教宣課課長
智山講伝所阿闍梨
小川照等先生

高幡写仏会のお知らせ

自分の手で仏様のお姿を写経のように写して、その後、御本尊不動明王に奉納する写仏会です。

当山では年二回(あじさいまつり・もみじまつりの会期中)写仏布教の第一人者、画僧牧宥恵師を招いて開催しています。写仏前の御法話も人気があります。是非この機会に御参加いただき、お不動様との法縁と写仏を自身の浄行とされ御本尊不動明王のご加護を授け下さい。

記

日時 六月十五日(土)・十六日(日)

午後一時～午後四時(受付 正午より)

会場 宝輪閣地階ホール(両日共、牧宥恵師の作品を展示します)

内容 午後一時 法話
午後二時 写仏
午後四時 写仏奉納大護摩修行

会費 貳千円(材料費含む)

◇お申込み・高幡不動尊事務局まで

電話 〇四二一五九一〇〇三二



「制吒迦童子・矜羯羅童子」
牧宥恵先生ご染筆の写仏お手本



多摩丘陵の一角を占める高幡不動尊、三万坪余りの境内は千古の緑に包まれ四季折々の花木を楽しむことができます。裏山には明治四十二年開設の山内八十八ヶ所の弘法大師像がまつられており森林浴を兼ねてのお参りは約一時間。あじさいまつり期間中巡拝路沿いに十問のクイズが出され、毎年大勢の方がクイズを楽しみながら参拝されます。解答用紙は、不動堂前、五重塔無料休憩所、五重塔外階段下、大日堂、大師堂、交通安全祈願受付所、山内八十八ヶ所一番札所に置いてあります。解答は事務局か宝輪閣受付へお持ち下さい。

尚、正解者の中から抽選で一五〇名の方に賞品を差し上げます。

山内八十八ヶ所 巡りクイズ

あじさいまつり諸行事案内 (六月一日～三十日)

- 山内八十八ヶ所巡りクイズの会……………(毎 日)
- 奥殿特別寺宝展及び鳴り龍拝観……………(毎 日)
- 五重塔無料休憩所開設(百五十名収容) (午前九時～午後四時) ……(毎 日)
- 茶庭拝観……………(毎 日)
- 薄茶接待 ……六月二十八日(金)までの水曜～日曜日(高幡山茶道教室)奉仕
- ※但し、二日(日) 中央大学、十六日(日) 明治大学、二十二日(土) 早稲田大学、二十三日(日) 専修大学の各大学茶道部ご奉仕(十時～十五時一服五〇〇円)
- 少年柔剣道奉納大会……………六月 二 日(日)
- 日本拳法奉納大会……………六月 九 日(日)
- リサイクル・フリーマーケット(雨天中止) ……六月 九 日(日)
- 青葉まつり(両祖大師ご生誕慶祝法要) ……六月 十五 日(土)
- 高幡写仏会……………六月 十五 日(土)・十六日(日)
- ござれ市(がらくた市)……………六月 十六 日(日)
- 月例写経会(山内僧侶法話午後一時三十分より) ……六月 二十一日(金)
- 空手奉納大会……………六月 二十三 日(日)
- 千体地藏尊月例法要……………六月 二十四 日(月)
- ご縁日……………六月 二十八 日(金)

あじさいまつり写真コンクール作品募集

テーマ①あじさいの部…令和六年のあじさいまつり期間中の高幡不動尊及び門前町の行事・風物や、あじさい等の作品
 ②四季の部…令和五年七月以降の高幡不動尊及び門前町の四季の風物、行事等の作品

サイズ カラープリント「六ツ切以上四ツ切迄・緑ナシ・ワイド可」
 締 切 令和六年六月三十日(日) 必着

応募規定①期間中に撮影の自作品(未発表のもの)
 ②作品ごとに応募票を貼付 ③資格は高校生以上

④作品に関する肖像権は応募者本人の責任となります。
 尚、応募作品は原則として返却致しません。
 入選発表及び表彰式は八月二十五日(日) 高幡不動尊客殿洋間

あじさいまつり俳句・短歌大会作品募集

兼題 高幡不動尊境内及び門前町の四季囀目作品(未発表作品に限る)
 応募 一組 二句又は二首(一人何組でも可)
 用紙 規定の用紙又は二〇〇字詰め原稿用紙(B5版)使用のこと。
 入花料 投稿時納入 俳句・短歌とも一組一〇〇〇円 (但し記念大会参加料を含む)

投稿先 日野市高幡七三三 高幡不動尊あじさいまつり事務局宛
 (〒一九一〇〇三二)

締切 令和六年七月一日(月) まで(当日必着)
 選者(肩書等略・五十音順)
 俳句 大竹多可志

才野 洋

菅木 弘
 鳥居真里子

蓼目良雨
 福神規子

星野高士
 矢島艶子

短歌 の諸先生

大河原惇行
 狩野一男

長澤ちづ
 森本 平

掲出 の諸先生

入選作は九月
 末まで宝輪閣
 又は五重塔々
 院に掲出する。



「奥殿から」
 あじさいの部 銅賞 三鷹市 北野 修



土佐天の川



土佐の青い鳥



土佐紺青



九重の花



鹿野の花



天主の紅



由布の恵み



銀河の輝き



紅手鞠



丹後貝咲き



紅小鈴



有沢八重



王冠



土佐の白玉



天使のえくぼ



石見なでしこ



井内紋



京てまり



揚羽蝶



星のささやき

◎あじさい御守授与（1体 各700円）
 あじさいまつり期間限定にて色とりどりの
 あじさい御守を授与しております。



紫陽花不動香発売

一箱 一、五〇〇円（六・七月限定）



御守印帳授与料
 変更のお知らせ



一、八〇〇円



各一、五〇〇円

ひの新選組まつり

土方歳三の命日（五月十一日）にちなみ開催される
 「ひの新選組まつり」は、今年二十七回目を迎え、五
 月十一・十二日の両日盛大に執り行われました。
 十一日は五重塔塔院大ホールにて新選組総回向法要、
 隊士コンテストが行われ、十二日は日野宿会場の甲州
 街道にて隊士パレードが行われました。



今年の土方歳三



総回向法要



コンテスト風景

諸行事に参加して

大寫経会 (4/27)

日野市 近内 政代

鳥のさえずり、墨をする音、筆を滑らす音、心が洗われる別世界の様でした。

町田市 新倉ノリ子

墨の匂いが懐かしく、とても緊張して思うようには出来ませんでしたが良い経験が出来て嬉しいです。

花井 光子

鶯の声を聞きながら一時心洗われ、清々しい心持ちになりました。今回はお友達に誘われて来ましたが、又参加したいです。

日野市 櫻井 美幸

二回目の参加です。一時間早く来て八十八ヶ所巡りをしました。素晴らしい山、木々、花の中を歩きながら一人づつ手を合わせて挨拶させていだきました。あれだけの敷地を管理していくのは、とても

大変な事だと思えます。八十八ヶ所巡りと写経会に参加できたことに感謝いたします。

日野市 横尾 勲

参加させて頂き二十余年、月例写経会と自宅での写経を含めて千巻をこえたようです。写経は気をしずめ、心の安寧に役立つようです。

立川市 矢木 秀子

退職を機に参加させていただき、今年で三回目となりました。広い客殿で大勢の方々と般若心経一枚を書写し、厳かな納経式に参列の後、おしい精進料理に法話と…。新緑の中で一日お寺をめぐり、心が洗われて気持ちが一押し前向きになれる気が致します。

八王子市 諏訪部雅子

お庭がとてもきれいに掃き清められていて清々しい。写経は始めて間もないけれど落着いて出来ます。若い方が多いのに感心しました。

記念法話 (4/27)

般若心経

「読み書く楽しみ」

大正大学仏教学部教授
阿部 貴子 (宏貴) 先生

相模原市 渡辺亜希子

私達が写経を納めることでこの五重塔が更なるパワーを持つ場所になるなんて、とても素敵なことです！ここに集まる方々から、世の中、更なる世界へ般若心経が広まり、穏やかな世になることを願っています。阿部先生のご法話に感謝です。



阿部貴子 (宏貴) 先生

東大和市 木村理恵子

毎朝、何気なくあげていた般若心経でしたが、阿部先生のおかげで、少しづつ意味が理解できたような気がしてあります。こだわりの捨てることの難しさ。すべては空である。経を書くことが重要。新しい気持ちで明日からまた般若心経とお付き合いたいと思います。

川崎市 山野辺千里

去年の大寫経会に参加してから般若心経の意味を知りたくなり、関連書籍を読むうちに仏教、密教に深く興味を抱くようになりました。今日の宏貴先生の法話はまさにこの一年で学んできた内容だったので、より深く理解することができました。とても良い時間を過ごすことができました。

相模原市 秋山 直子

初めて写経会に参加しました。阿部先生のお話により般若心経の意味を分かりやすく深く知る事が出来ました。素晴らしい機会を頂き心より感謝致します。

稚児行列 (4/28)

日野市 井村あいき

六才と四才の子供二人、お世話になりました。お天気にも恵まれ、可愛いお化粧に衣装、とても良い思い出となりました。

日野市 鈴木 健吾

長女に続き四年振りの次女の参列でした。昨年度まで三宅島に転勤しており、このような体験を久しぶりにできました。家族にとつて懐かしさを感じるとともに良い思い出になりました。天気も良く、娘も楽しみながら参列する事ができました。

村上 幸

幼稚園の友達と参加し、良い思い出になりました。暑くて最後にくたくたになってしまったけど楽しかったです。

小平市 佐藤 沙紀

初めての参加で、伝統行事をしたことがなかったので、親も子どもとも良い経験になりました。



柳家花緑師匠

奉納演芸 (4/28)

柳家花緑師匠 落語
柳家花飛師匠 落語

坂東市 張替美智子

柳家花緑さんの話は大変おもしろかったです。本当に酔っぱらっているように見えたのがすごかったです。

清瀬市 加藤 典子

久しぶりの花緑さんの落語で、楽しみに来ました。さすがの話しっぷりでした。全力

船橋市 渡邊 楓

お化粧、最初は嫌がりましたが、丁寧にお声掛けして頂いて乗り越える事が出来ました。一生に一度の良い思い出になりました。

の話はすごいです。私も全力で笑う生活をします。

日野市 海老沼 進

花飛さんのアナウンサーのような美声。花緑さんはツカミがすごい！笑うチカラをもらいました。お経のようなスピード(笑)の寿限無の口技を生で聴くのは素晴らしい。お坊さんのお経と落語家のお話で世界平和に。

日野市 小松 敏女

花飛さんは落語家さんには見えない感じなのに惹きつけられました。花緑さんは流石です。どっぷりと話に引き込まれました。魅力いっぱいですね。有難うございました。

国立市 北島はるみ

二回目の花緑さんの会ですが、以前にも増して花緑さんの落語が楽しかったです。これから頑張り下さい。また来てくれる事を楽しみにしています。

五重塔 仏伝彫刻拝観 (4/28)

板橋区 西村 綾華

今日、初めて五重塔の中を参拝させて頂き、感無量でした。

た。高幡不動尊様には何回もお参りさせていただいてますが、四月二十八日は年に一度の五重塔頂上までお参りできることを今日初めて知ったので、大変ありがたいと同時にとても良い日になりました。

八王子市 高梨希代恵

何度もお参りに来ていて、外からはよく拝見していましたが、今回はじめて、じっくり中からも外からも見せていただきました。お釈迦様の一生が壮大なレリーフで描かれていたり、四方に如来様が守り下さっていたりと大変素晴らしいかったです。

金沢市 北岡夏央里

初めて入らせていただきました。五重塔の内部を参拝できる貴重な体験をさせていただきました。有難うございました。

台東区 片岡 昭子

今回で二回目になります。天気が良くて、遠くまで眺望でき、素晴らしい経験ができました。今年も良い年になります様に祈りました。

調布市 井出 悦子

何年ぶりの五重塔最上階からの景色でしょう、疲れを忘

記念講演 (4/29)

「江戸時代の高幡山金剛寺と門前百姓」
法政大学名誉教授 馬場 憲一先生

日野市 志村 康洋

昨年に続いて馬場先生の講義に出席をさせていただき、詳細な資料に基づく当時の時代背景と地域、文化、金剛寺について知識を得ることができました。

日野市 小野 純平

古刹金剛寺の歴史と門前百姓に関する貴重な御講演をありがとうございました。長く地元の民を見守ってくださっていたことを知ることができました。古文書の読み方に触れ、とても興味深くお聴きしました。江戸時代の裁判の様子はとても新鮮でした。

八王子市 木内基容子

十八歳まで日野市程久保に住み、小学校は潤徳小でした。子供の頃は下校時に立ち寄りたり、毎年初詣でお参りしていたもの、お不動様のこと

をきちんと学んだことがなく良い機会と思ひ受講しました。江戸時代の複雑な社会の一端を知ることができて、大変興味深かったです。

八王子市 沼田 修司

馬場先生は古文書などを読み解き、それらの史料を基に当時の背景なども含めて解説していただけるので、極めて理解しやすく、今回の門前百姓についても、史料の説明をレジュメに基づきお話しされるので、とても良くわかりました。

日野市 酒井菜穂子

「日本史」は学校で学び、大河ドラマなどでも取り上げられますが、意外に「郷土史」は知る機会がないので、非常に面白かったです。馬場先生のお話はわかりやすく、資料も付けていただけ大変勉強になりました。



馬場憲一先生

山内消息

多摩八十八ヶ所

巡拝はじまる

本年も龍華会主催の多摩八十八ヶ所巡拝がはじまり、総勢四十名の方々が参加しております。この巡拝は、多摩地域の真言宗寺院八十八霊場を四月から十月の七回に分けて先達の先生と共にバス巡拝するものです。

来年の巡拝は随時募集しておりますので、お気軽に高幡不動尊内龍華会にお申し込み下さい。

花まつり

四月四日から八日の五日間、恒例の甘茶接待が行われ、参拝者の多くの方々が甘茶の味



三神内局ご一行様

を楽しんでいました。

また、四月八日は花まつりです。お釈迦様の誕生を天の竜王が祝して甘露の香水を降らせてお釈迦様の頭に灌いだという故事に基づき、沢山の花々で飾り付けた花御堂の中央に誕生仏をご安置してお像の頭より甘茶を灌ぐことから灌仏会とも呼ばれます。

当日は当山僧侶により花御堂に於いての法要、高幡山遍照講の皆様による詠歌奉詠につづき、不動堂にて記念大護摩供が執り行われ多くの方々

が参拝されました。(百戸記)

おみがき

四月二十四日、春季大祭準備のおみがきが行われ、山内職員、遍照講の皆様総出で境内全ての仏器を磨き上げました。仏器の輝きによって堂内

が少し明るくなりました。(上田記)

真言宗智山派

新内局ご一行様来山

四月二十六日、総本山智積院より三神栄法宗務総長、久保田剛士総務部長、金子隆昭教学部長、荒井真道教化部長、正田精栄法務部長、杉本栄次

財務部長、宮田隆伸宗務出張所長の皆様方が新内局発足のご挨拶に来山されました。(五十嵐記)

総代世話人会研修旅行

五月七日、当山檀家総代世話人研修を開催し、大本山川崎大師平間寺へお参りに行ってまいりました。貫主をはじめ総勢十二名の一行は、十年に一度の大開帳されている御本尊厄除弘法大師様を参拝しご貫首様お手摺りの赤札を拝授してまいりました。(佐竹智記)

ご詠歌全国奉詠

川崎大師大会に出場

五月十日、ご詠歌の「密厳流遍照講全国奉詠川崎大師大会」が大本山川崎大師信徒会館を会場に開催され、高幡山支部と西蓮寺支部合同にて出場しました。

この大会は川崎大師十年毎の御本尊厄除弘法大師大開帳奉修に合わせた大会で、全国から六十四支部、六百名を超える方々が集い、お大師様の曲を中心に一斉奉詠しました。大本堂での式典では布施浄慧管長猥下よりお授けとご垂

く献花のおすすすめ

お花講 講員の募集

当山ではお花講講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただいております。毎年秋季大祭大般若会(九月二十八日)に御招待(法話・大般若会参加・お護摩札授与・精進料理接待)致します。大勢様ご入講下さいませすようご案内申し上げます。

記

- 一、名 称 高幡山お花講
- 一、会 費 一ヶ月 五〇〇円

※入講は随時承っております。

ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。



ご詠歌川崎大師大会にて

示をいただき、藤田隆乗ご貫首様からは歓迎のご挨拶がございました。地階大講堂では弘法大師様を「詠歌と声明と映像で伝える舞台「御詠歌法音絵巻」お大師さま」の公演を鑑賞しお大師様と共に生きていると改めて感じる一日でした。

奥殿だより 第八回

ご奉納のご報告

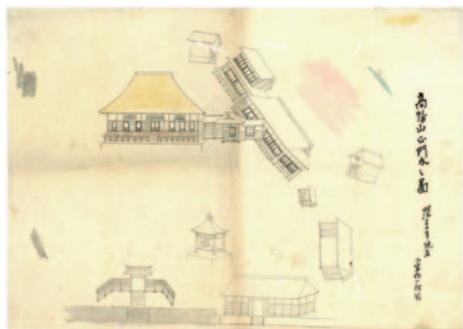
前回の「奥殿だより」で、当山関係の古写真や絵画、絵図に関する情報提供を呼びかけましたところ、早速日野市程久保にお住まいの檀家の方から資料のご奉納を賜りました。この度の「奥殿だより」では、御礼かたがたその資料を紹介させていただきます。

ご奉納いただいた資料は、明治二十二年（一八八九年）に作成された、不動堂及び仁王門、境内の図などです。全部で八枚あり、薄い和紙に墨で描かれております。ご奉納者の三代前のご当主小宮佐一郎が作成されたものです。

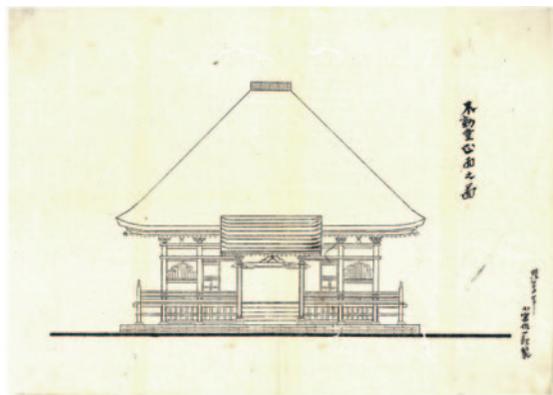
作成方法をどのように習得されたのかは、はっきりしておりません。早速、これらの資料は拡大して印刷し、古写真とともに展示させていただいております。

写真と比べましても、建築設計図のように大変よく描かれていたことがわかります。

写真が残っていない建物の様子なども知ることができ、本山の歴史を知る上で、重要な資料であります。



高幡山境内諸堂宇配置図



不動堂正面の図



愛宕山からの展望



天然理心流剣術中極意目録 小宮家所蔵

また、この度の展示替えに合わせて、小宮佐一郎の四代前小宮彌兵衛が近藤勇から授与された、天然理心流の剣術中極意目録の免許を借用して、奥殿展示室16で展示しております。

当山に関する資料についての情報がありませんれば、是非お知らせいただければと思います。ご奉納だけでなく、ご拝借して展示に活用させていただきたいとも思っております。情報お待ち致しております。

(藤井和夫記)

高幡いきもの曼荼羅 ②7

高幡不動尊の境内や裏山では季節と共にいきもの達の顔ぶれが入れ替わります。しかしそれは毎年同じように替わるのではなく、環境や生態の変化にかなりの影響を受けているのです。例えば冬の境内で餌をついばんでいたアオジは、すっかり姿を見掛けなくなっていました。最近ようやく数を回復しつつあります。恐らくアオジ同様地面に近い所で生息するガビチョウとの縄張り関係が落ち着いたのかも知れません。

ただ懸念されるのは、新緑の季節に裏山で鳴いていたツミヤアオバズクの姿を見掛けなくなりました。餌になる小動物の生息分布に変化があったのか、或いはカラスなどの天敵が増えてしまったせいでしょうか。

しかしそれとは逆に、新たな「いきもの」との嬉しい出会いもあります。四月にはいつて裏山で美しい鳴き方をする鳥がいたので、撮影して確認してみるとキビタキの雄と判明。たまたま渡りの途中で立ち寄ったのかも知れません。また以前は殆んど見られなかったアカハラも生息しています。時間軸で栄枯盛衰が見られるいきもの達も空間軸では別の広がりを見せているのです。

高幡不動尊に御参拝の折には、きれいな紫陽花を愛でつつ「いきもの」との一期一会を楽しんでみてはいかがでしょう。



アオジ



キビタキ



アカハラ

なにげなくつかっている仏教のことば—無為(むい・ぶい)

「無為に人生を送る」といえば、何もせず、ただ漫然と怠惰に時を過ごしていることであり、「無為徒食」なる四字熟語があります。また、老子思想での「無為」とは、自然のままで作る

「無為」とは、自然のままで作る

「無為」とは、自然のままで作る

(小林靖典)

お不動さま教えて?

ご質問 不動さまのお護摩の法要では、どのようなお経が唱えられているのか、また、その意味内容はどのようなものなのでしょうか。どうかお不動さま教えてください。(前号のつづき) お答え

はい、お答えします。前号では『錫杖経』と『祈願文』についてお話をしました。

さて『祈願文』が終わると、太鼓のリズムに合わせて、『理趣経』の『百字の偈』が唱えられます。『理趣経』はわたしたち真言宗において、朝夕のお勤め、またお葬式や年回忌法要の中で必ずといっていいほどお唱えする経典です。



本経は現実世界に存在するすべての「もの」や「こと」が「本質的に清浄である」こと、それはまた、大日如来の修行中の姿である金剛薩埵の境地そのものであることを説いたものです。

この『理趣経』の要義を百文字からなる詩にしたものが『百字の偈』です。その内容は次のようなものです。

勝れた智慧をもつ菩薩は、汚れた迷いの世に留まり、恒に衆生を済いつづけている。

真言行を修する菩薩は、仏の智慧と衆生を済う手立てをもつて、この世のすべてのものと生きとし生けるものを清浄にしている。

真言行を修する菩薩は、すべての衆生を済うという大きな欲をもって、衆生の利己的な小さな欲を制御し尽くしている。

蓮華が汚泥に染まることなく清浄な大輪を咲かせるように、真言行を修する菩薩は、小さな欲にもまた清浄なはたらきがある。と知って、そのはたらきをもって衆生を済っている。真言行を修する菩薩は、金剛薩埵のさとの境地に至り、大きな欲によって衆生はみな仏と平等であるとの確信と大いなる安樂を得て、迷いの世において自在な力をもって、ゆるぐことなく衆生を利益するのである。

また、真言宗でこの『理趣経』がよく唱えられているのは、本経典の中に、『理趣経』をお唱えしたり、お唱えする声をお聞いたりすれば、犯した罪を減すことができ、大いなる安樂が得られると、繰り返して説かれていることが大きな理由です。

(次号につづく)

御詠歌始めませんか

『密厳流御詠歌』 講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、青葉まつり・大施餓鬼会などの法要でお唱えします。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集しますので、大勢様にご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- 一、名 称 遍照講高幡山支部
- 一、参加資格 どなたでもご参加いただけます
- 一、指 導 密厳流遍照講師範
- 一、会 費 一ヶ月 三、〇〇〇円
(但し、鈴・鉦などの道具は別費)
- 一、稽古日時 月二〜三回 午前十時〜十二時
- 一、問い合わせ先 高幡不動尊内「遍照講高幡山支部」
電話 〇四二五九一〇〇三二



「深山の景」 嵯峨御流テキスト「ときめきの花」より

大覚寺門跡推薦教室
いけばな 嵯峨御流
「第3回」

「けしきいけ」現代の花伝書から引用いたしますと、「景色いけ」とは、水の循環

により綿々と続いている大自然の生態系の特徴的な景色をいけばなで表現するものです。すなわち、深山を源として発する水が森林を育て、野辺を潤し、池や湿地にとどまり新しい生命を発生させ、やがて河川となり豊かな水量を見せ、大海に流れ込むまでの特色ある水と、自然が生み出す景姿を「七景」として系統的にとらえたものです。嵯峨御流の「景色いけ」は、単に風景を模していきけるのではなく、景色から五感を通して心に響く

すべての要素を巧みに組み合わせ、ほんのわずかなスペースに風景の大パノラマを表現する独自のいけばな形態です。滝、岩、立ち枯れた古木が見える溪谷、溪流の「深山の景」。苔むした倒木、豊かな水量、水に映える景色が美しい山湖、林地の「森林の景」。春秋の里地を流れる小川を表現する「野辺の景」。穏やかな水の動きと水面に映る風景をとらえた「池水の景」。沼の澱み、深みを感じる「沼沢の景」。豊かな水の流れの「河川の景」。白砂青松の向こうに大海を望む「海浜の景」。以上七つの景色です。(講師 納富貴甫)

もろびと 衆生の

深き縁ぞ

俣ばるる

御霊祭の

灯火の影

「万霊供養盂蘭盆の御詠歌」

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時〜午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

〇ご祈願料 金三、〇〇〇円也

御護摩修行

〇平日 八時・十時・十一時半・一時・三時

〇土曜・日曜・祝日 八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時

〇但し一日、十五日の午前中は 五時・十時・十一時半

〇ご縁日(二十八日) 五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時

〇御護摩料 金三、〇〇〇円也

金五、〇〇〇円也

金一〇、〇〇〇円也

(大護摩) 金三〇、〇〇〇円以上

ご縁日 〓 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市) 毎月第二日曜日(雨天中止)

ござれ市(がらくた市) 毎月第三日曜日(雨天決行)

お焚き上げ 毎月十五日午前九時

月例写経会 毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要 毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館) 午前九時〜午後四時

拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時〜午後四時

参拝料 二〇〇円

(月曜休館)

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

五月中頃、新潟の或る地域では冬の降雪量が少なかつたので田圃の代かきが出来ないようなニュース報道がありました。水不足が心配になります。

毎年職員が新種の紫陽花を買付けに行き、数年鉢植で育ててから地植えにしています。P8の花が何処で咲いているか探してみても如何でしょうか。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別格本山 高幡山金剛寺

電話 (042) 591-0032(代)

FAX (042) 593-3038

発行人 黒川高徳
編集人 黒川高徳
年4回発行・再生紙使用

高幡不動尊境内略地図

山内八十八ヶ所とあじさいマップ

 可憐な山あじさい (6月上旬・中旬)
 あじさい、かくあじさい (6月中旬・下旬)
 彼岸花 (9月中旬・下旬)

 山内八十八ヶ所巡拝路
 四季のみち
 あじさいのみち

- 不動堂……毎日護摩修行・新文六不動三尊参拝 (どなたでもご参加頂けます)
- 奥殿……日本一の不動三尊(重文)・大日如来像(平安時代中期)ほか指定文化財・新選組資料・寺宝多数展示
- 大日堂……鳴り龍・新選組位牌等多数展示
- 五重塔……無料休憩所・千体地藏堂参拝・釈迦三尊像参拝
- 茶室……開催日時等 詳しくはHPにてご確認ください

- 御護摩修行**
- 平日 8:00・10:00
 - 11:30・1:00・3:00
 - 土曜/日曜/祝日
 - 8:00・10:00・11:30
 - 1:00・2:30・4:00
 - 但し1日、15日の午前中は 5:00・10:00・11:30
 - ご縁日 (28日)
 - 5:00・9:00・10:00・11:00
 - 12:00・1:00・2:30・4:00
- 交通安全折願**
- 午前9:00～午後4:30(30分毎)
受付は各回5分前までにお申し込み下さい。
- 月例写経会**
- 毎月21日 午後1:30
- 千体地藏尊月例法要**
- 毎月24日 午後2:00

フリーマーケット (リサイクル市)
 毎月第2日曜日 (8月はお休み)
 ござれ市 (がらくた市)
 毎月第3日曜日

別格本山
高幡山金剛寺
 〒191-0031 東京都日野市高幡733

電話 (042) 591-0032(代)
 FAX (042) 593-3038



至高幡不動駅
 毎月28日
 歩行者天国